

広報かねやま
KANEYAMA



January

1

2026
No.757

【今月の表紙】

12月19日、神室ヴィレッジで行われた馬ソリの練習風景

▼詳しくはこちら



令和8年1月1日、町制施行101周年目を迎えました

新たな時代の一歩を皆さんと共に



ネイチャーポジティブ宣言を行いました

ネイチャーポジティブ宣言とは

自然環境の悪化が地球規模で進み、生物多様性の喪失が世界的な課題となっています。この流れを食い止め、自然の再生を目指すため令和4年に「ネイチャーポジティブ（自然再興）」が国際目標に設定され、国内においても「生物多様性国家戦略」が国の目標として位置づけられています。全国で宣言を行う自治体や企業が広まっており、金山町では12月町議会定例会の行政報告で宣言を行うことを報告し、1月1日にネイチャーポジティブ宣言を行いました。



▼全文はこちら



▲環境省HPはこちら



● 緑の憲章ロゴ

町制施行100周年にあたり、町の花としてカタクリ、町の鳥としてクマタカを選定し、緑の憲章ロゴを制定しました。特に絶滅危惧種であるクマタカが町の鳥として生息できる環境の維持は、町民の豊かで持続可能な暮らしにつながるものと考えています。

取り組み内容

- 自然がもたらす恵みと町民の幸福を守るため、生物の多様性に配慮した社会の実現を目指します。
- 金山町の自然環境がもたらす恩恵に感謝しながら森林資源を活かし、自然豊かな町として維持発展します。
- 生物多様性の重要性に気づき、自然と共生し、農林業を中心とした地域社会とゼロカーボンシティを目指します。

金山町長
佐藤英司



新年明けましておめでとうございます
新たな年が健やかで実り多い一年でありますように

新年明けましておめでとうございます
ます。町民の皆さんには、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

時間経過も早いもので、昨年の元旦には町制施行100年目を記念しての祝砲「のろし」を上げてから一年が経過し、101年目を迎えました。昨年は、特に夏場の異常な暑さと極端な少雨、そして場所を選ばないクマの出没は、県内あらゆる市町村で深刻な事態となっていました。これまでより危険度合いを一気に高めました。これまで、関係者の協力をいただいて対応してきましたが、これからも取り得る対応を素早く、適切に取り組んでいきます。

さて、昨年秋に女性初の高市総理大臣が誕生して、内閣支持率も高い状況で推移しています。特に「責任ある積極財政」の考え方のとど、経済対策、物価高対策に注力しています。12月には大型の補正予算が臨時国会で成立しました。このうち、「重点

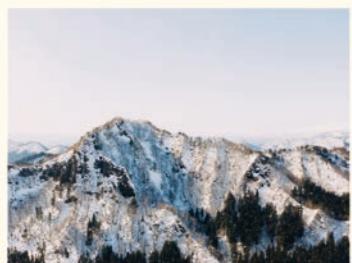
時期としては、これからが本格的な冬到来です。雪に慣れている私たちでも、その降り方、積もり方は毎年異なり、対処は容易ではありません。自助、共助も可能な範囲でお願いし、それに公助も十分組み合わせた形で、厳しい冬を乗り切りたいと思います。さらに、冬は車の運転をはじめ、歩行時や雪処理作業などの場面で危険度合いが大きくなりますが、危険な行動はできるだけ避けるとともに、日常の「気を付けて」などの声掛けをして、安全に過ごしてほしいと思います。そして、今年一年が、町民の皆さんにとりまして、健やかで実り多い一年となりますことをご祈念いたします。

支援地方交付金」が市町村に交付されることで、物価高対策などの効果的な事業実施のため、年末に町議会臨時会で議論をしました。先に「町物価高対策町民応援券（美杉ちゃん券）」を配布したことから、今回は各事業所のエネルギー等物価高騰分や最低賃金高騰分の影響を考慮した支援を中心に実施していく予定です。それに、新年度予算での物価高対策も盛り込むことも想定して編成作業を進めたいと考えております。

新年賀

町制施行100周年記念楽曲・ 「りゅう」公開

12 月2日、金山町公式YouTubeで金山町町制施行100周年記念楽曲「りゅう」のミュージックビデオが公開されました。「りゅう」は金山町の風景やくらしをイメージして、アーティストの北村路さん（上山市出身）が作詞・作曲した曲で、今年度の金山中学校の全校合唱曲として披露されました。全校合唱の様子は記念映像第2弾として2月下旬以降に上映会を開催し、公開予定です。



▼「りゅう」
ミュージック
ビデオはこち
ら



「金山の道、百年の光。」優秀賞 東北、世界に続く3度目の受賞

11 月26日、東京都国立新美術館で映文連アワード2025表彰式が行われ、全国から3部門、157作品の応募がありました。その中で金山町町制施行100周年記念映像「金山の道、百年の光。」が、「無関与や無関心が広がるこの社会のなかで、温かく受け入れる人々の姿があった」と高い評価を受け、ソーシャル・コミュニケーション部門「部門優秀賞」を受賞しました。受賞は東北、世界に続く3度目の受賞となります。



▲表彰式に出席した
すぎらば なみ
杉浦穂奈監督（中央）と、
映像制作に携わった4名



◀「金山の道、
百年の光。」
はこちら



栗田伸幸さん次世代人工心臓の 国際的実用化に貢献

11 月25日、KKRホテル東京で第73回電気科学技術奨励賞贈呈式が開催され、アメリカ合衆国テキサス州 ベイラー医科大学外科部准教授栗田伸幸さん（下中田地区出身）と群馬大学教授橋本誠司さん（栃木県出身）が電気科学技術奨励賞並びに文部科学大臣賞を受賞しました。電気科学技術奨励賞は、電気科学の発展に寄与した個人・グループに贈られる賞で、栗田さんは磁気浮上技術を応用した次世代人工心臓の研究開発と国際的な実用化への貢献が高く評価され受賞となりました。栗田さんは「町の支えが私の原点になっており、これまでの歩みと今の研究を支えてくださっている方々に心から感謝しています。磁気浮上技術を生かした次世代人工心臓の実用化と普及を進め、世界の心不全に悩む方々の命を支え、健康寿命の延伸に貢献していきたいです」と受賞の喜びと今後の抱負を語りました。



▲栗田伸幸さん（右）、橋本誠司さん（左）

暮らすように旅をする・ 台湾で広がる金山への旅の魅力

11 月20日から24日にかけて「金山微住」で生まれた繋がりをさらに深めることを目的として台湾でプロモーションが行われ、「金山微本」を設置くださる施設を訪問するとともに、金山町の魅力を伝えるための交流イベントを開催しました。言葉の壁がありましたら、これまでの微住参加者が自らの想いと言葉で金山町を紹介してくれたことで、金山と台湾が相互にインアウトバウンドを体感する機会となりました。



まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。
総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601



かねやまびじゅう かねやま びほん
「金山微住」「金山微本」とは？

観光でも移住でもなく、1週間ほど町に滞在し「暮らすように過ごす」交流型の受入事業です。令和4年度から6年度に台湾からの参加者を迎えて、地域の日常に触れながら町とのつながりを育む取り組みを進めてきました。その成果として、台湾向けの観光冊子「金山微本」を参加者が協力して繁体字で制作。これまでの参加者の協力により台湾各地の書店やカフェに設置が進んでいます。今後も、この関係性を重視した相互交流型の観光づくりを進めます。



師を偲び感謝を込めて 第6回藤間流藤乃会舞踊公演



▲約20曲を披露した出演者

11月22日、新庄市民プラザで藤間流藤乃会舞踊公演が開催されました。藤乃会のほか、新庄べにばな歌謡サークル、真室川音頭保存会が出演し、来場者約300人は会員の日頃の稽古の成果に見入っていました。公演の最後には、藤乃会代表の栗田満さん(杉沢)が「安宅の松風」を踊り、「会創立35周年と師・藤間松悦先生の三回忌追善を兼ねて開催しました。藤乃会を支えてくれた皆さんに感謝しています」と想いを述べました。

まちおこし塾 全8回を開催 受講者が町に事業を提案



▲まちおこし塾を受講した町民10名と講師

10月3日から8回にわたり「金山町まちおこし塾」を開催し、20代から80代までの町民が参加しました。塾では、日本技術士会「なりわい支援ワーキンググループ」の3名を講師に迎え、町の資源を掘り起こし、課題を分析しました。11月22日には、受講者が町に事業提案を行い、正野悦雄さん(上台)は「多くの学びと発見があった。観光でさらに町を盛り上げていきたい」と、観光事業や関係人口の創出に向けた提案を行いました。

「食」で支える県民の健康 押切幸子会長に知事感謝状



▲押切幸子会長(前列右)

11月17日、山形県庁で「山形県健康づくり・栄養改善関係功労者知事感謝状贈呈式」が開催され、食生活改善推進協議会の押切幸子会長が、栄養・食生活改善事業功労者部門で知事感謝状を受賞しました。式では、長年にわたり県民の健康増進にご尽力されたことに対し、知事から感謝の言葉が述べられました。今後も、町民の健康づくりにおいて、さらなるご活躍を期待しています。

学びの場をより快適に 最北塗装組合のボランティア塗装



▲8名の最北塗装組合員が塗装を行ってくださいました

11月15日、最北塗装組合の皆さんが、金山中学校の校舎内の壁をボランティアで塗装してくださいました。当日は、組合員の方々が丁寧に作業を進めてくださいり、校舎内が明るく清潔な雰囲気によみがえりました。事務局長の長倉友美さん(荒屋)は「子どもたちが気持ちよく学校生活を送れるようになれば嬉しいです」と話していました。子どもたちの学びの場を思う、温かなご支援とご厚意に心より感謝いたします。

肉質検定で歴代トップ級成績 「七福久」号が県産種雄牛としてデビュー



▲最高ランクの脂肪質と霜降り「七福久」号

11月7日、今村彦也さん(魚清水)が生産した肉牛「七福久」号が新たな県産種雄牛としてデビューしました。令和6年9月にデビューした加藤優志さん(谷口)生産の「丸藤3」号に続く快挙となります。「七福久」号の子牛を調べた検定の結果、霜降り度合いを示す数値は歴代トップと並ぶ10.1という非常に優秀な成績を出し、脂肪の質(MUFA)も最高ランクの「H」と評価されており、畜産関係者から期待が寄せられています。

新庄市・戸沢村・金山町 ふるさと納税における連携協定を締結



▲左から山科朝則市長、加藤文明村長、佐藤英司町長

11月21日、最上広域交流センターゆめりあで、ふるさと納税の共通返礼品に関する自治体間連携協定を新たに戸沢村と締結しました。令和5年12月に締結した新庄市に加え、戸沢村のふるさと納税返礼品の一部を共通の返礼品として提供できるようになり、最上地域における連携の輪がさらに広がりました。今後も、共通返礼品を通して最上地域のさらなる魅力発信に取り組んでいきます。

スポ少指導に長年尽力 高橋章さんへ功労者表彰



▲県スポーツ少年団功労者表彰を受賞された高橋章さん

11月15日、鶴岡市の東京第一ホテル鶴岡で行われた山形県スポーツ少年団表彰式で、高橋章さん(三枝)が山形県スポーツ少年団功労者表彰を受賞しました。高橋さんは長年にわたり金山スポーツ少年団の指導者として子どもたちの育成に尽力し、認定指導員として指導者の養成にも継続して貢献されてきました。これらの功績が高く評価され、今回の受賞となりました。誠におめでとうございます。

「聞きたくても聞けない」を支える 移動型スマホ教室を開催



▲個別相談が可能な「スマホなんでもサポート号」

11月10日から21日まで、やくし苑駐車場で専用車両「スマホなんでもサポート号」を使ったスマホ教室が開催されました。スマホ教室では、LINEアプリの使い方や安心・安全にインターネットを使う方法などを丁寧に説明し、終了後には実際にLINEアプリへ登録した方もいました。参加者からは、「子どもに聞くと怒られるので助かる」「PayPay(電子マネー)を使えるようになった」「次回開催を期待している」といった声が寄せられました。

お米500kgを困っている方へ 青柳栄一さんから町へ寄付



▲青柳栄一さん(左)、武内俊雄事務局長(右)

12月18日、町社会福祉協議会に対し、農事組合法人いづえむの青柳栄一さん(檜台)からお米500kgが寄付されました。青柳さんの「困っている方の力になりたい」という思いから寄付いただいたお米は、町内の一人暮らし世帯で生活にお困りの方などを対象に配布されます。町社会福祉協議会事務局長の武内俊雄さんは「新年を前に新米をご寄贈いただき大変ありがとうございます。生活に困っている方などに配ります」と感謝の言葉を述べました。

J2リーグ戦終了 モンテディオ山形の選手が表敬訪問



▲城和隼颯選手(中央左)、野嶽寛也手(中央右)

12月2日、町中央公民館に2025明治安田J2リーグで10位となったモンテディオ山形の城和隼颯選手(千葉県出身)と野嶽寛也選手(鹿児島県出身)が表敬訪問のため来庁しました。城和選手と野嶽選手は、それぞれシーズン中の活躍や来シーズンの目標を力強く語ってくださいました。また、サイン入りの色紙とともに特製の旗や記念品を町へ贈呈していただきました。来シーズンの活躍も期待しています。

柳原・入有屋・下向地区的防災力を高める 防災研修会を開催



▲研修会には役員12名が参加

11月30日、柳原公民館で神室自主防災組織役員を対象に防災研修会が開催されました。この研修会は組織の理念などを学ぶため、防災士の矢口一寿さんを講師に招き神室自主防災連絡協議会が主催したものです。研修を通して災害時の基礎知識や役割分担を学び、参加者はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。区長の三上重幸さん(柳原)は「来年度から住民と一緒に訓練などを通し、実践的に組織が機能するようにしていきたい」と想いを語りました。

羽場地区公民館に笑顔の輪 つきたて餅と大根汁で交流深める



▲餅つき交流会には地区住民45名が参加

11月23日、羽場地区公民館で毎年恒例の餅つき交流会が開催されました。当日は、お父さんたちが威勢のよい掛け声とともに石臼と杵で餅をつき、お母さんたちが雑煮、あんこ、納豆、きな粉、くるみの5種類の餅と大根汁を用意しました。つきたての餅やあたたかい大根汁を囲み、子どもたちと地区住民が会話を弾ませながらおいしそうに味わう様子が見られ、温かいひとときとなりました。

生産者と子どもたちをつなぐ 金山産つや姫献立



▲児童につや姫などの説明を行う青柳栄一さん

12月19日、金山小学校と金山中学校で「金山産つや姫献立」がふるまわれ、食育の日にちなみ金山産つや姫ごはんと鮭の黄金焼き、千草あえ、肉じゃがなどが提供されました。金山産つや姫は農事組合法人いづえむの青柳栄一さん(檜台)が無償で提供したもので、児童と一緒に給食を楽しんだ青柳さんは「物価高の中でも美味しいお米を子どもたちに味わってもらいたかった。農業に興味を持つきっかけになればいい」と想いを語りました。

神室スキー場安全祈願祭開催 今シーズンの無事故と賑わいを祈願



▲神室スキー場は十分な積雪がありしだいオープン予定

12月9日、指定管理者(株)ライズ主催で神室スキー場安全祈願祭が行われました。安全祈願祭では、桜本仁志宮司(七日町)のお祓いのもと、関係者や地元住民が参列し、今シーズンの無事故と多くの来場者を願って祈願が行われました。鷺尾晋代表取締役から、新たな取り組みをはじめ、多くの来場者に安全に楽しんでもらえるよう意気込みが語られました。

金山町の冬の安全を守る 除雪作業員20名が安全を祈願



▲今年度の除雪作業員20名と佐藤英司町長(前列中央)

12月1日、町除雪ステーションで町道除雪作業班の安全祈願祭を開催し、班員20名と町関係者がシーズン中の作業の安全を祈願しました。中村純平班長(三枝)が「除雪作業の重要性を十分認識し、安全で安心な道路環境を確保するため、一致団結して作業に努めます。また、事故の無い除雪作業を行うため万全の体制で臨みます」と意気込みを語り、除雪作業員一同で気持ちを引き締め、無事故での作業完遂を誓いました。

自立する地域をめざして 地区担い手づくり研修会を開催



▲地区担い手づくり研修会の参加者の皆さん

11月27日、「地区担い手づくり研修会」を開催し、6地区から8人が川西町吉島地区を訪問しました。11月3日の町公民館大会で講師を務めた高橋さんから、連携した地域運営の手法を学び、「20から30代のうちから地域運営に参画してもらうことで後継者を育てている」「地域で稼ぐ仕組みが重要」「役場に依存しない運営を目指す」といった取組に参加者は共感し、さっそく地区で情報共有をしました。

金山町地域おこし協力隊 隊員3名を募集します

【募集人員】 地域おこし協力隊 3名(新規)

【採用予定日】 令和8年4月1日以降

【業務概要】 業務内容は、以下のうち1つを選択し、共通して町の宣伝活動を行う。

▼新庄南高金山校の地域みらい留学と学生寮に関する活動に取り組む隊員

▼町内産業の事業承継やPR活動に取り組む隊員 ▼フリーミッション

【勤務条件】 (1)勤務場所…金山町役場ほか (2)勤務時間…8時30分～17時(原則) ※応相談

(3)雇用期間…任用の日から令和9年3月31日まで。事業成果などにより任用を更新します。

※最大3年間、町で3年後の起業支援、定住のサポートを行います。

(4)報償費等…月額180,000円～229,100円(予定)

※雇用形態による。資格・能力・経験等を考慮

(5)活動経費…金山町地域おこし協力隊員活動支援補助金

※PC貸与、自動車貸与等あり。町営住宅の紹介、家賃補助等あり。

【受付期間】 令和7年12月1日(月)～令和8年3月19日(木) 8時30分～17時

【申請書類】 ・応募用紙 ・その他資格などの写し ※応募用紙は町ホームページよりダウンロード可

【採用方法】 書類選考および面接試験

【問い合わせ】 役場総合政策課 政策推進係 ☎29-5602 ☐seisaku@town.kaneyama.yamagata.jp

町が起業の支援や
定住後のサポートをします

鳥獣被害対策に従事する金山町集落支援員を募集します

【募集人員】 集落支援員 1名(新規) ※町会計年度任用職員

【採用予定日】 令和8年4月1日以降

【募集対象】 ▼地域の実情を理解している方、もしくは理解しようと努力する姿勢を持っている方。

▼地域活性化に深い熱意をもって積極的に活動できる方

▼心身ともに健康で誠実に職務を遂行できる方

▼地方公務員法第16条に規定する職員の欠格条項に該当しない方

【業務概要】 金山町集落支援員設置要綱に基づく、地域支援(鳥獣被害対策)に関する活動及び事務

【勤務条件】 (1)勤務場所…金山町産業課 (2)勤務時間…8時30分～17時(原則)

(3)雇用期間…任用の日から令和9年3月31日まで。事業成果などにより任用を更新します。

(4)報償費等…月額182,400円～229,100円(予定)、期末手当、その他費用弁償等

(5)福利厚生…社会保険等に加入、年次有給休暇有り

(6)活動経費…金山町地域おこし協力隊員及び集落支援員活動支援補助金

【受付期間】 令和7年12月1日(月)～令和8年2月27日(金) 8時30分～17時

【申請書類】 ・応募用紙 ・その他資格などの写し ※応募用紙は町ホームページよりダウンロード可

【採用方法】 書類選考および面接試験

【問い合わせ】 役場総合政策課 政策推進係 ☎29-5602 ☐seisaku@town.kaneyama.yamagata.jp

100周年記念のぼり・ポスター 掲示のお礼とお願い

町制施行100周年の節目の年に、記念の「のぼり」と「ポスター」を掲示いただき、ありがとうございました。記念の年が過ぎましたので、下記のとおり「のぼり」と「ポスター」の回収・廃棄をお願いします。

【のぼり】 1月中旬に町職員が回収に伺います。

【ポスター】 お手数をおかけしますが、各自で廃棄処分をお願いします。

【問合せ】 役場総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601

記載内容の訂正とお詫び

広報かねやま12月号の掲載内容に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

【訂正箇所】 21ページ 町政NEWS

誤：大澤英一郎常務理事 正：大澤栄一郎常務理事

町立金山診療所売店の 出店者を募集します

町立金山診療所では、所内売店の出店者を募集しています。来所される皆さまの利便性向上にご協力いただける方で、出店に興味のある方は、どうぞお気軽にお問合せください。

【募集期間】

令和8年2月20日(金)まで

※希望者多数の場合は選考を行います

【出店場所】

町立金山診療所内 売店スペース

【募集対象】

販売などの経験は問いませんが、販売する商品に応じて保健所への届出等が必要になる場合があります。

【申込方法】 下記までお電話ください

【申込・問合せ】

町立金山診療所 総務係 ☎52-2915

地区の負担軽減のため 月1地区配布を検討

皆さんのご意見をお聞かせください

町民の皆さんの「地区配布の負担軽減」を実現するため、令和8年5月から広報かねやまお知らせ版を廃止し、地区配布を月1回にする計画を検討しています。月1配布を検討するにあたり、皆さんからのご意見・ご要望をお待ちしています。

【背景】 「毎月2回の地区配布が大変だ」「配布物が多くて負担になっている」などのご意見をいただき、町では令和6年度から、チラシ等の配布物の削減や行政情報ナビの活用により、地区の負担軽減に取り組んでいます。

【目的】 ▼地区配布の負担軽減のため ▼ペーパーレス化を推進するため
▼広報の掲載内容の見直しを図るため ▼自主印刷による印刷の粗を無くすため

【配布】 「上下水道料金通知書」の配布日に合わせ、毎月第2金曜日に配布予定

【回答方法】 ①オンライン回答…右のQRコードを読み込んでご回答ください
②紙での回答…町公式ホームページから回答用紙をダウンロードし郵送してください

【回答期限】 1月30日(金) 正午まで

【問合せ】 役場総務課 広報・DX推進係 ☎29-5601

〒999-5404 金山町大字金山324-1 役場総務課 広報・DX推進係 宛

▼オンライン回答



▼紙(郵送)回答



はじめての Birthday

晴れて1歳の誕生日を迎える

金山の可愛い子どもたちを紹介します♪

※男の子も女の子も「ちゃん」づけにしています



さんじょう はるの
三条 暖乃ちゃん

【地区】十日町
【誕生日】1月22日

【メッセージ】
にこにこ笑顔で元気に
育ってね♡パパとママ
のところに産まれてき
てくれてありがとう♡

金山の保護者の方から、「風邪を引いた赤ちゃんのオムツが赤くて心配です」と受診されることがあります。風邪薬を飲んでいて、熱もなく元気な場合には、「アスベリン」という咳止めの薬の影響で、尿が赤く見えることがあります。幼児や小児用の粉薬でも同じようなことが起こることがあります。これは薬の代謝物による色の変化ですので、心配はありません。

また、熱があるときや夏の暑い時期などには、尿が赤茶色に見えることがあります。これは脱水によって尿が濃くなっている「濃縮尿」であります。尿検査を受けることをおすすめします。

尿検査を受けることをおすすめします。尿検査の結果、尿が赤色であることが多く、尿が赤い色が続いているうちに自然に治ります。このことが多く、尿が赤い色が続いているうちに自然に治ります。尿検査を受けることをおすすめします。

町立金山診療所だより vol.201

ほっとクリニック

赤いオシッコと赤いウンチのお話

町立金山診療所小児科 医師 藤山 純一 先生

さうに、園や学校の検尿で「血尿」といわれることもあります。再検査で異常がなければ問題ありませんが、何度も検査で陽性が続く場合は、「無症候性血尿」の可能性があります。この場合は、3～6ヶ月ごとの再検査で経過をみることが勧められます。多くはそのうち消失しますが、血尿に加えて「蛋白尿」も認められることがあります。慢性の腎炎などの可能性があり、より詳しい検査が必要です。

排尿時に痛みをともなう血尿の場合、尿道炎や膀胱炎が考えられます。このときは、尿検査に加えて、陰部や下腹部の診察が必要です。小児ではまれではありますが、尿管結石の可能性を考えることもあります。

一方、便に血が混じる場合については。生まれて間もない赤ちゃんの便に血液が混じるときは、「ビタミンK欠乏による「新生児メレナ」が考えられます。ただし現在は、生後すぐからケイツーシロップ(ビタミンK)の投与による予防が行われています。そのため、発症は大きく減っています。生後半年までの赤ちゃんで、便に点状の血液が見られるものの、よく飲み、機嫌も良い場合には、「リンパ濾胞増殖症」が考えられます。これは腸の内側の小さな凸凹した部分からの軽い出血で、多くは様子を見ているうちに自然に治ります。このうちには、尿が濃くなっている「濃縮尿」であります。尿検査を受けることをおすすめします。

町民生委員 児童委員を紹介

皆さんの身近な相談相手となり、適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たします。お困りの事がありましたら、お気軽にお声がけください。

【問合せ】役場健康福祉課 福祉係 ☎29-5613

民生委員とは

地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めます。

児童委員とは

地域の子どもたちの安全を見守り、子育てや妊娠中の心配ごとなどの相談や支援を行います。

※敬称略
()は担当地区



にしだ とおる
西田 とおる
(内町・魚清水)



やぐち まさる
矢口 勝
(稻沢・宮)



しばた じゅんいち
柴田 純一
(十日町)



みかみ じゅうこう
三上 重光
(下向・柳原・入有屋)



ほしかわ みきこ
星川 美紀子
(羽場)



すとう ひろこ
須藤 博子
(田茂沢・蒲沢)



はやさか ちえこ
早坂 智恵子
(三枝・荒屋)



かとう さぶろう
加藤 三郎
(谷口・飛森)



かとう せいみつ
加藤 清光
(安沢・片貝)



たかはし むつみ
高橋 瞳美
(漆野・春木・小蟬)



あまぐち そういち
天口 壮一
(山崎・上台)



たん かずひと
丹 和人
(七日町)



しばた しんいち
柴田 伸一
(七日町)



ちがはら ゆういち
千川原 雄一
(下中田・杉沢・上中田・外沢)



はなや りゅうえい
花谷 龍悦
(下野明・檜台)



しょうじ めぐみ
庄司 恵美
(朴山・板橋・長野)



たん ひろゆき
丹 裕之
(十日町)



きし つかさ
岸 司
主任児童委員(全町)



さとう ひろみ
佐藤 洋美
主任児童委員(全町)

金山町町制施行101周年記念企画

かねやま未来図

町制施行100周年を迎えた新たな一步を踏み出した金山町。「金山の未来」をテーマに各地区からご寄稿いただきました。この節目の年に金山町の未来の姿を想像し、共に希望に満ちた地域社会を築いていきませんか？



▲蒲沢地区道路沿いのコスモス

自然と共生する蒲沢地区を未来へ

蒲沢地区 区長 大野 まさみさん

蒲沢地区は神室山登山道蒲沢口や台山を望む豊かな自然環境に恵まれています。上台川上流の森林や田畠、かつては登山やキャンプ、魚とりなどをし、子どもから大人までが自然と触れ合う場として親しまれてきました。しかし現在は不整形な農地が多く、高齢化により農業や地区運営を担う若手の不足が深刻な課題となっています。こうした状況を打開するため、今年度から蒲沢、田茂沢地区の大規模な圃場整備事業が始まりました。「21世紀東郷ロマンの町づくり」にあるように、登山道や蒲沢栎木林道の整備、小規模な公園やキャンプ場、子どもの宿泊体験や大学生のホームステイなどを組み合わせることで、農業と観光・交流が両立できると考えます。今後も自然と人が共生する地区を目指し、世代を超えて受け継いでいきたいです。

【地区】 24世帯/59名 ※令和7年11月末時点

地区の現状と願い

田茂沢地区 区長 岸 末吾さん

山合に広がる田茂沢地区は、道路沿いに家が立ち並ぶ小さな集落です。現在、田茂沢、蒲沢地区の農地整備事業が進んでおり、令和9年には基盤整備が始まる予定です。また、一般県道稻沢下野明線整備早期の事業化を一日も早く実現していただきたいと要望しているところです。地区の様子については、他地区と同様に少子化が進んでいますが、春の離まつりには高学年の子どもが幼児や低学年の世話をしながら、お雛様を見に歩きます。地区の方々もあたたかく見守ってくれます。また、60歳代から加入している老人クラブについては、2・3ヶ月に一回集まり、お茶会や小旅行、廃品回収などを行う活動をしています。将来、基盤整備や道路の改良などで景色が変わっても良き風習や活動が変わらず続していくことを願っています。



▲地区老人クラブのお花見 (秋田県)

【地区】 23世帯/78名 ※令和7年11月末時点

この作品は
QRコードで
見る

生徒の皆さん、「町の音」をテーマに音とナレーションにこだわりながら、金山町の魅力を一生懸命に表現した作品をぜひご覧ください。

編集後記

12月10日
山形テレビ
で「第25回
山形ふるさとご大賞」
が放送され、各市町村の
個性あふれるCM作品が
紹介されました。金山町
は惜しくも受賞を逃しま
したが、金山中学校の生
徒が収音やナレーション
を担当した本町のCM作
品は、審査員からも高い
評価をいただきました。

金山町の人口は、4,567人 (11月末現在)

男 性 2,259人 (-9)
女 性 2,308人 (-10)
世帯数 1,672世帯

▼11月の異動
出生 2人
死亡 13人
転入 2人
転出 10人